

沖 縄 タ イ ム ス

基地周辺の防音 対象拡大を要請

防衛局に中部市町村会

【中部】中部地区10市町村でつくる県中部市町村会

(会長・島袋俊夫)うるま市長)は25日、沖縄防衛局を訪れ、米軍嘉手納基地・普天間飛行場周辺の住宅防音工事で対象となる住宅の建築年数を拡大するよう求める要請文を田中利則局長に手渡した。

嘉手納周辺の住宅防音工事は、騒音の激しさを示すW値(うるささ指数)85以上の地域では2008年3月10日までに建築された住宅が助成対象。普天間はW値85以上の地域はない。

一方、W値75または80の地域では、嘉手納が1983年3月10日、普天間が同年9月10日以降に建築された建物は対象外。同会はW値80と75の地域も08年3月10日までの対象拡大を求めた。

田中局長は「全国の防音

工事の実施状況などを踏まえながら、防衛本省とも相談をしてどういった対応ができるのか検討したい」と述べた。